

## 今村学園ライセンスアカデミー学校関係者評価書

会議開催日 令和6年3月29日

開催場所 今村学園ライセンスアカデミー本校

評価作成日 令和6年4月1日

委員	在校生保護者	1名
	卒業生保護者	1名
	学園関係団体役員	1名
	今村学園評議員	1名
	同窓会会長	1名

評価項目	評価・意見
重点目標	<p>重点目標について学園関係団体役員から、校訓が「学問・人格・味覚」となっており、柔道整復トレーナー学科に少しなじまない感じがあるが、修正や変更の予定があるかと質問があり、校長から校訓を4つにすると、式典等で掲示する時にバランスに若干問題があるとの考えで、今のところそのままにする予定であると回答があった。なお、校歌については、柔道整復トレーナー学科用に加詞を行っていると追加のコメントがあった。また、同委員から人格面の修養について何か取り組んでいることがあるかと質問があり、柔道整復トレーナー学科では、臨床実習時の早朝から校舎周辺のゴミ拾いを、また、衛生課程の学生には、挨拶の励行を徹底するよう指導していると回答があった。その他の重点目標については委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。</p>
教育理念・目標	<p>同じく学園関係団体役員から、学生のコンクールへの参加状況と結果について教えて欲しいことと、それに対する課題があるかと質問があった。それに対し、副校長から調理師科は3人が九州大会に出場したが、残念ながら全国大会へは進めなかったこと、パティシエ科は東北での全国大会に3名出場し、1名が賞を得たと報告があった。課題については、パティシエ科卒業生の国家試験全員合格に検討・対策の余地があることが付け加えられた。また、就職先から何か学生へ期待する要望など伝えられているかと質問</p>

	<p>があり、それに対し、就職先は人手不足で、特に相手側が要望を強く伝える状況にはないように思うと回答があった。その他の教育理念・目標については、委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。</p>
学校運営	<p>今村学園評議員から、学校の事業計画はどのように周知されているかと質問があり、毎年の事業報告はホームページの学校情報（財務諸表）に掲載してあると答えがあった。また、教員の充足状況や注力すべき部署などがあるかと質問があり、校長から、学生数がほぼ充足しているパティシエ科は、教員又は助手の数が若干不足気味と考えていると回答があった。その他学校運営について委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。</p>
教育活動	<p>卒業生保護者から期末試験における GPA 評価の目的について質問があり、それに対し、本校は、高等教育の修学支援新制度の機関対象校になっており、成績が原則全体の3/4以上であることが支給条件であることから、全ての教科において厳密に GPA 評価を行っている校長から回答があった。それに対し委員からのコメントとして、GPA 評価だけでは、どの教科内容が理解不足なのかが分かりづらいとして、もっと緻密な個別の成績評価も求めたほうがよいのではないかとコメントがあった。その他教育活動について委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。</p>
学習成果	<p>同窓会会長から、就職率に関して4科についてそれぞれ求人状況（求人倍率）に差があるかと質問があり、また、退学率低減の取組みとして臨床心理士の活動状況を知りたいと質問があった。それに対し、事務局から全般的に求人はとても多く平均4倍程度はありと説明があり、心理士については、入学時に全新生に心理アンケートを行い、希望者には早期に面接を行っていること、また、日常生活では、多くの学生に支援室を居場所として提供することで、校内での人間関係のストレス緩和に役立っていると回答があった。その他学習成果については委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。</p>
学生支援	<p>学生支援については、卒業生保護者から、メンタル面の支援に力をいれているとのことだが、具体的にはどのような</p>

	<p>相談が多いか、その対応についても質問があった。加えて、メンタル面以外での学校医の仕事としてはどのようなものがあるかと質問があった。また、卒業生が管理栄養士を受験することへの支援を行っていることについて、合格実績への質問があった。それに対し校長から、メンタル面の相談は、特に卒業前は、座学・実習の試験への不安、就職活動に伴う不安に対する相談が多く、メンタル面以外では、体調不良による病院受診の相談や怪我の応急処置などが学校医の業務として多いと回答があった。管理栄養士については、昨年度は、卒業生3名が合格し今年度からその資格で働いていると回答があった。その他学生支援については委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。</p>
<p>教育環境</p>	<p>教育環境については、今村学園評議員から、クラスの人数に対する広さや、机の配置などに問題点はないかと質問があり、それに対し事務局から学生一人の面積は規定通りに確保できており、また、なるべく一人一人の机の距離が広がるように配置を工夫していると回答があった。また、同委員から国内・海外研修について本年度の状況や成果及びそれを踏まえた今後の方針などについて質問があった。それに対し副校長から、今年度は国内研修旅行を久しぶりに関東方面として、テーブルマナーや、高級ホテルの様子などを研修したと報告があり、海外研修については、現在の治安状況では時期尚早と考えていると回答があった。その他教育環境については委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。</p>
<p>学生の受け入れ募集</p>	<p>令和6年度の入学予定者はどうかと在校生保護者から質問があった。また、理学療法士への人気が高いようだが、独立不羈の気概のない若者が増えて残念であるとのコメントがあった。それに対し、事務局から来年度は今年度にと比較して数人の増加がみこまれていると報告があり、校長からは、卒業生などから、独立できる職種の魅力についての講和等を企画し、学生に目的意識をもっと高めてもらうよう検討したい旨返答があった。その他学生の受け入れ募集について委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。</p>

財務	<p>同窓会会長から今年度の収支についての総括はいかがと質問があり、物価高の影響についての分析についても尋ねられた。また、全国的に少子化傾向に歯止めがかからない状況における、募集に対する将来対策の検討についても質問があった。それに対し事務局から今年度はいわゆる営業ベースで若干の黒字となりそうであると回答があり、将来の対策として、赤字部門である調理師科夜間コースの募集停止を実施する運びであると回答があった。その他財務に関しては、委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。</p>
法令等の遵守	<p>卒業生保護者から、国や県からの監査があると思うが、本年度に実施されたものがあるか、また、その際何か指摘があったかについて質問があった。また、学生の成績など重要書類についての保管はどのようにされているかについても質問があった。それに対し副校長から、県からの監査が2部門からあり、いずれも凡そ法令通りに運営されているとの評価であったと説明があり、重要書類の保管は、安全な学内サーバーにおいてきちんと管理していると回答があった。その他法令等の遵守に関しては、委員全員学校自己評価とおりで問題ないと了承された。</p>
社会貢献・地域貢献・国際交流	<p>学園関係団体役員から今年度の学園施設を活用した社会貢献にはどのようなものがあったか、また、留学生の入学はなかったとのことだが、令和6年度についてはどうか、及び現状では留学生の受け入れを積極的に取り組んでいるかと質問があった。それに対し、事務局から令和6年度も留学生の入学はない予定であり、言葉の問題に対する準備がまだ不十分なことから、積極的には受け入れを行っていない旨回答があった。その他社会貢献・地域貢献・国際交流については特に話題になることはなく、学校自己評価とおりで問題ないと了承された。</p>

以上